



広報

にのみや

昭和47年12月

第120号

発行所 二宮町役場 企画課

0463 (72) 1811 (代表)

住所 中郡二宮町二宮 919 番地

電話 0463 (71) 0767 (代表)



しょうねん場に立たされた二宮町

し尿処理場の建設は単独で

大磯町より申し入れ

みなさんの尿をくみとり山間に投棄している現状が、いつまで続けることができるでしょうか。

うか。

昭和四十年に大磯町、二宮町の両町をもって中瀬川組合を設立し、二宮町川田組合が適地であるとの結論から、用地の取得、農地の転用許可、都市計画、事業決定などとしておりなく、事務上の手続は完了いたしました。二宮町は、二宮町地区の建設反対にあつて、行き止まりの状態を余儀なくされています。

昭和四十六年度以後、中瀬川組合の組合長が大磯町に移り、このなし尿処理場の建設反対の事情、住民の感情等から単独で行ないたい旨を大磯町より申し入れを受けました。

みんなで考えよう

処理場問題

大磯町より二宮町へ申し入れの取得した町民の分組金、その他で建設費を賄う山間投棄、そしてあつた単独建設の要請は、広域行政の推進は行政内容上のものであります。

あつて、道建設のうな各町間の連携が効果をつくり出す。うなうなものであれば、まことに結構ですが、ことし尿処理場の建設などは行政の推進と推進方法とは、非常に困難な状況に生じます。

大磯町民の尿を二宮町まで搬送し処理することが、二宮町民の感情に訴へることは、困難な状況に生じます。たまたま、二宮町民の尿を大磯町で処理した場と、大磯町民の感情もまた、複雑と、町議会協議会の開催も数回に及び、また地元との対話も行っています。

し尿処理場建設の問題点

都市計画区域内にある二宮町は、し尿処理場の建設にあつては、都市計画法第九条より建設大規模の許可が必要であり、そのが正手方法、正当な手段として事業決定も受けましたが、反対住民は建設地方自治所へ都市計画決定の取消請求を行ないました。

(取消請求の理由の主な反

地区住民と議員が対話の会を開催

限られた山間投棄の、し尿処理場の建設にあつては、町議会の議員が個々の立場で地区住民との対話の会を開催してきています。これは昭和四十年以後今日までし尿処理場建設問題の対決過程で、行き止まりを説明し、そこから住民の意見を聞き、町議会に反映しようとするものです。

充実された老人医療施策

80才以上の年間一人当たり

平均医療費 五、七〇〇円

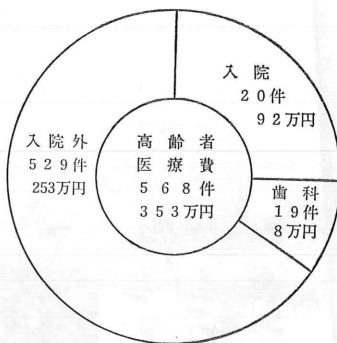
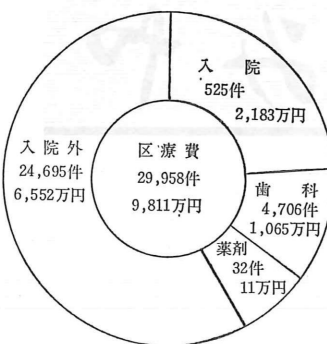
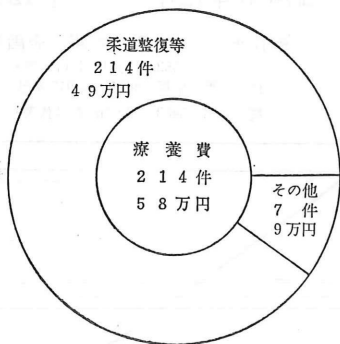
町国民健康保険会の昭和二十六年における医療費の総額は、八千八百一十の千円で、九五五件) になっている。

医療費を按ずる人の間平均加入者は五、五八一人、一人当たりの年間医療費の平均は、一七、二八円にもなっている。

ここで、老人医療費を面から考えてみますと、高齢加入者(八才以上)であつたものが、年間で七の千円程度の医療費が支出されてゐるといふと、町内の年賦平均年齢加入者は六七ですが、年間平均加入者は六七で、平均一人当たりの平均年間医療費は、五、七〇円になっている。

普通医療費の一人当たりの額と比較しますと、高齢者医療費は約倍の額に達するといふことが三箇にもな数字になっている。

また、その他保険外費等は、助産費に八八円、年間八八件、一件につき一、五万、葬祭費九八円(年間五五件、一件につき一、千円) になっている。



役場機構の紹介

〈⑤ 保健衛生課の巻〉

～ 奉仕の精神をモットー～



保健衛生課の仕事は、国民健康保険に関すること、保健衛生、環境衛生等に関することが主な仕事です。

①保険係の仕事は療養費の給付、国民健康保険税の賦課徴収から促励んでいます。

②保険係の仕事は療養費の給付、国民健康保険税の賦課徴収から促励んでいます。

れ、それに伴った事務量も非常に増大しておりますが、福祉向上の最先端の意欲にみなぎり張切って仕事にはげんでいます。

これらの仕事になさわれている職員数は選任以下八人（一般事務）それに清掃作業員二十九人の計三十七人をもって、みなまの生活に直結した保健衛生業務の遂行の為に医療費の無料化が実施さ

②衛生係の仕事は地域衛生組織の育成から予防接種、母子衛生、精神衛生や環境衛生、献血推進事業など、そして尿、じんかい廃棄物処理及び清掃と、みなさんの生活に直接関係の深い仕事を係長を含む四人、と清掃作業員二十九人

で行なっています。

保健師助産師の仕事は、ゆりかごからお年寄りで、の健康維持、健康管理に手を動かす、みなさんの生活環境の保健に全職員一丸の精神を、モットに接しています。

保健衛生課の役場内での位置は、本庁舎南面入口を入って右側、お水の石の隣りです。

なお、お氣付きの点があります。たら保健師課（七二・〇七六七）及び企画課（七二・一八一二）へお知らせください。

続ける細心な心づかい

造成残土の搬出はやまを越す



対話を重ね住居の環境保全を最重点に、細心な心づかいをもって安全対策に真心と熱意を態度で示し続けている公共用地の造成工事も、十二月中旬にはやま場を越し新春早々には福祉センターの建設

対話と参加が

生
心
処
方
箋

十月十七日より残土の搬出を行なっていますが、搬出するまでには、いろいろな形の困難が提起され、みなさんと一緒に考え、話し合っていく限りの実現を約束し、心を一つとしています。



関係者の要望で

マイクロバスの運行を中止

学童の安全対策の一環として、学校及びPTAより要望。町の施設とを合まして、二宮小校の敷地を合しまして、山西地区の児童の校時にマックロバで送る。送る。施設を、十月十六日よりなつてましたが、十月十日よりこれを廃止することにいたしました。関係者との対話中からマックロバ輸送がより安かであることがわかった。

考案実施したましたが、学校当局及びPTAよりマックロバでの輸送を中止してらいた。目的の要望が拒絶された。

町ではこれに代る。安全対策を検討した結果、山西地区児童の下校時に内原緑地センターを通過しない間を立て、中止の要望を受諾しました。

工事の進行と環境の保全

工事にとっても緑の被覆が心配されています。町では対話の中で、環境保全についての対策を明らかにしましたとおり、緑化の対

には十分心をつかっています。できる限り工事設計上の見地から、良好な環境をくり出すを努力しています。

地ハ夕部分には

緑化を
造成が進むにつれて、公共用地
の地ハダが露出しています。露
出た地は、日照等を
勘案し、それぞれ
の植樹対策を行
ない緑の復興を図ります。

- 3日 町文化祭を開催。菊花約150点を始め、華道、手芸、書道料理、木彫、焼物等の展示があり盛大に行なわれました。
'また、芸能大会では、謡曲、コーラス、舞踊等が行なわれ、町の教育文化に功績のあった方が表彰されました。
- 5日 俳句教室、謡曲大会を開催
- 6日 民生委員会議 婦人相談所と中央児童相談所について説明があった。
- 8日 移動保健所を開催。

- 10日 議会全員協議会を開会。し尿処理問題について審議した。
- 12日 史跡めぐりを開催。ことしは箱根日街道を主としたコースで参加者約 110人で実施しました。
- 14日 総合計画審議会を開催。
- 15日 社会福祉センター建設打合せ会を開催
- 16日 消費生活モニター会議。
- 19日 身障者ボーリング大会を開催。町から約30人が参加して大

町 の 動 き

11月1日～11月30日

磯にて開催されました。

- 20日 農業委員会総会を開会。
- 23日 町民総ぐるみ交通安全大会を開催。交通バレード等により交通事故防止をスローガンに参加者 1,500人で盛大に開かれました。

- 24日 昭和48年度予算編成会議を開催。
二宮町保健ステーション協議会を開催。
- 25日 社会文教常任委員会と教育委員会との合同会議を開催。
- 26日 防火訓練を実施。秋の全国火災予防週間にちなんで防火パレード等が開催されました。
- 中郡ロードレース大会兼郡市対抗駅伝予選会を百合が丘で開催。
- 文化祭、菊花展の表彰式を行う。

- ないました。
- 27日 農業委員会総会を開催。
庁舎建設研究会を開催。
- 28日 国保運営協議会を開催。
- 29日 議会審査特別委員会を開催
乳幼児の医療費の助成に関する
条例審査について審査した。
- 30日 駅前広場等関係会議を開
催

意を述べた。今後、交通公社は、
 対応に対する宣言、決議等を公表
 にしました。また、交通公社特別
 監査委員の会の中核団体1、個
 人の方が、誕生されました。
 監査発表は、平成二色六月
 年木七まで、中生三宮赤赤、
 星方さん、運転者鈴木和夫氏、
 交通事務局若湯氏、交通事故
 調査部、運輸部、交通安全課
 渡辺邦郎氏、交通安全事故調
 査部田正氏の方から、それぞ
 れの立場でまた有識者の意見が
 発表され、交通安全と意識の
 高まるために、心を込めてし町
 が交通事故「〇」にするよう
 にと、みんなで明日の町づくり
 を、合いました。

もう一度
調べてみよう

もう一度
調べてみよう

火災のシーズンです。年末を迎え、何かに急がしい毎日ですが、ちよっとしと不注意から火災が起こります。次のことをもう一度調べてみましょう。

○ガスのゴマン管は安全バンドで、めめありません。

○ガスのゴマン管は長さきいていません。

○ガスを使用中、その場を離れてみましよう。

は住民課福祉係、各保育所にあ
りますので、前もってご用意く
ださい。

▼保育所の定員（ ）内は乳児

- 二宮愛児園 五七人
- 梅花保育園 九〇人・二〇人
- 二宮保育園 九〇人

町立百合が丘保育園 九〇人

▼措置の決定
児童福祉法による保育所への
措置基準によって、入所の決定
をします。

○職務 一般事務職員、消防防
 害科長、保母一名
 ○受付 昭和47年12月5日、昭
 和48年4月20日
 ○除籍資格 昭和25年4月2日、
 昭和30年4月1日までに生
 れた方で高校卒業（留試）以
 の方
 ○手続 履歴書（写真貼付）、
 戸籍証明書、身分証明書を持参
 （郵送可）
 ○試験 面接等を行ないます。
 の他詳しくは、役務課課
 員に相談してください。

●役場の休み 12月29日～1月3日
●賀詞交歓会 1月5日
午前10時30分 公民館
●出初式 1月7日 午前10時
二宮中校庭
●成人式 1月15日 午前10時
～12時 公民館

○受講者……特例講習会を受けていない方。
(都合により、有効期限以前
に受けても結構です。)

○日 時……毎週木曜日、午後2時(約2
時間)

○場 所……大磯警察署3階講堂

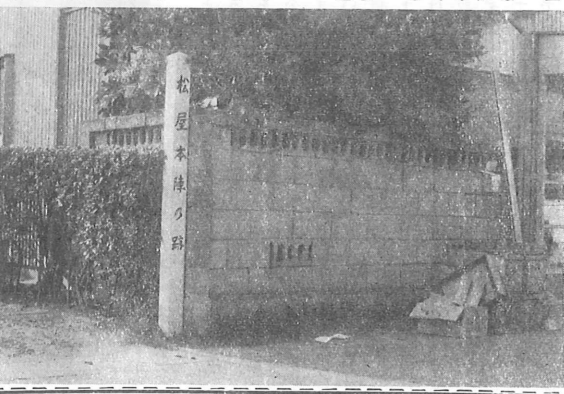
○更新の時期を指定しますので、その時期
に新しい免許証と引き換えてください。

(9)

でやりきらないので、間のへ
泊して賢を安んずけよとい
うた。それとて一緒に
本宿があらされてきものも見え
て大騒ぎ、小田宿の閑者
がそこの助金持客などいふの
をみて、享保中(一七二
三)の正にその通申す(ふ
ぎょう)から、一柳斎茶園方
明になつて、以治り佐仕に

原の御殿原(ごさばら)に見
るゝない地境で、釜淵、豊島、
松原など大名の邸し旅陣はこ
じめ、呉服屋、駄馬、米とか
な銅鑼、魚屋、菓子屋などの
商店、さて風呂場までであつ
たかなにかいよかた(ところ)であ
つたと述べてゐる。

その後、参勤交代もなくなり
明になつてから鉄道の発達



当時の松屋旅館跡

二月四日から入権週間が始

二月四日から入権週間が始

医療機関名	電話		29 ³⁰ 31 ¹ 2345	
青江眼科医院	71-0271		↔	急患可
磯野医院	71-0109		↔	
岡本さかき産科	71-0267		↔	急患可
小倉医院	71-0407		×	急患可、1日のみ休み
小野江医院	71-0031		↔	急患可
笠間医院	71-0103		↔	
北川医院	71-0007		↔	
相馬医院	71-0045		↔	
山口医院	71-0270		↔	急患可
山本耳鼻科医院	71-0168		↔	急患可、30日は午後から
前田医院	71-0214		↔	
飛田医院	71-0572		↔	30日は午後から
岡本義英産科医院	71-0247		↔	
住田医院	17-0179		↔	30日は午後から
二宮眼科	71-2046		↔	
加藤医院	71-8443		↔	
二宮診療所	71-0201		↔	
志村医院	71-8020		↔	急患可、30日は午後から
倉田医院	71-2370		↔	急患可
浅野クリニック	72-0770		↔	
井上整形外科	71-8821		↔	
国立小児病院	71-2567		↔	
水井医院	71-0571		↔	28日から休み、急患日中のみ

★町救急業務は年末年始も行なっています。

3 力月児健診

○とき 12月26日

○場所と時間は従来どおりです。なお
収集時間が多少ずれることがあります
ので、早目に指定の場所におつれ
ください。

○対象児及び対象地区
昭和47年7月1日～8月31日まで
に生まれたこども。二宮、山西川
勾、中里地区のみ。対象となる方
には、個人通知が行きます。

○とき・ところ・時間
12日 公民館 13:30～14:50

○清桶業務は、じんかい収集のみ30日まで行ない、他は29日～1月4日まで休みです。

＜じんかい収集の日程＞

●29日 下町、中町、上町、梅沢
越地、茶屋、釜野、通川
入川町の各地区

●30日 百合が丘全地区、一色、中里、元町、上町3、下町4
梅沢学校通り（釜野、入川
を除く東海道本線の北側の
地区）の各地区

●当日は収集時間が決まっておりますので、午前8時までに出しておいてください。

◆1月5日よりじんかい、し尿共に平常通り行ないます。

【粗大ごみ及び不燃物の収集】

●14日 東海道本線より南側の地区

●21日 “ 北側 “
(釜野、入川を除く。)

●ごみの置く場所は、一般のごみと同じ場所に、分けて置いてください。分けて置かれません、回収しないこともありますのでご注意ください。

お問い合わせは保健衛生課へ

○対象 昭和47年1月1日～6月30日までに生まれたことも。また、1期完了後1年以上すぎていることもで、2期が完了していないことも。

○とき・ところ 25日 公民館
26日 保健ステーション

○時間 13:30～14:50

住民の声

今月は「選挙について」として、棄権防止について、投票所について、ポスター等についてなど、いろいろの年代の方々から意見を聞いてみました。

選挙投票に行かないことは、国、社会をよくし、社会を明るくするため

に投票しよう。候補者を選ぶ場合、私は立合演説会、選挙公報などを見聞きして選ぼうが、まず政党ブラス人間性を重点としています。

過去数回の選挙投票を経験してきましたが、昔に比べますと現代の投票者の雰囲気や態度は非常によくなっています。買収や供応などとなつてきずき一票を金で買うなど、国政に参加を信じていますので立合演説会や投票所までの距離が近い違ひは問題にしていません。

選挙陣営を防ぐには、一人一人の自覚が大切だと思えます。乗権者や若者などためには、ふだんから若い人や婦人層の座談会などを開いて、広く啓蒙することがよいのではないのでしょうか。また若い人が投票しないのは、政治への不信の形が出てきているのではないかと思います。そこで、家庭内でも政治について話し合っをして、政治に感心を持つことがよいことではないかと思えます。

ポスターの掲示は、町の要所へのみ掲出すればよい、と思えます。

私は、衆議院議員選挙にあたり、私の一票が国政や自分の生活を左右するのだと言う自覚のうえで、投票しますが、投票に際し、候補者を選ぶ場合には主目日刊紙、投票放送などのを見て選びます。町内、町外、投票所、投票方法、今日のようによろしくポスターは、今日のようによろしくレビの政見放送、日刊紙の紹介、選挙公報などあらゆる視覚的広報が、発達し、掲示場に掲示されているポスター（写真と名前）だけを参考に投票する人があつたらどうか非常に疑問かと思う。また裁判官の国民審査はあまり意義が感じられません。もっとよい方法はないものでしょうか。

地域的な関係かと思いますが、団地に住みますと、画一化された近所との連帯感がなくなるとの傾向があるために、行政に対して無感心になることがあると思います。

私は町へ居住してから、今回の選挙は三回目ですが、もっと選挙意識を高める方法の一つとして、選挙守会の人々を、各年代層から選出することはよりもっと感心が高まるのではないでしょうかと思います。

裁判官の審査については、私たちが日常の生活である関係がないので住民の代表である学識経験者である一層から投票した方がよいのではないかと思います。

防寒施設を

外気が零度以下になると、屋外露出している水道管の水が凍りや蛇口が破裂することがありまから、きびしい寒さから守って下さい。

破裂を防ぐには、外に出てい
る分を保温材でおおい、夜間使用
しない時は、蛇口に乾いた布等で
むくこと。また、凍った場合は、
ぬるま湯を管にかけて使用して
ください。

○ 醫師、歯科医師の免許をお持ちの方は、一月十五日までにおおきくまの保健所へ届出してくだされい。

○ 歯科衛生士、歯科技士、歯科助手、歯科診療員、歯科衛生士、歯科技士、歯科助手、歯科診療員

六、三九七円となりました。
年末助け合いによろしく
ください。

ご協力	卓球クラブ	13	17
◇20日	婦人会華道	13	17
◇21日	卓球クラブ	9	12
◇23日	〃	13	17
◇28日	〃	9	12
婦人会華道	13	17	
◇昭和47年1月5日	賀同交歓会	13	17
10:30			

▽申込みその他は「暮らしの一日教室」と同じです。

なわれました共同募金は、婦人会、民生委員、組長を種団体、町民のみなさんの協力で目標額を上回り、年

区長、	◇11日	開票日
その他各	◇13日	婦人会助け合い持寄り
の大きな	9ゝ17	婦人会華道
牛末助け	◇14日	卓球クラブ
二四万	◇6日	婦人会華道
		3ゝ7

町の人口	
(11月1日現在)	
総人口	23,315 人
男	11,552
女	11,763
有権者数	15,677(11.19現在)
世帯数	6,170
面積	8.96 km ²
人口密度	2,602

★行政相談
 ▽20日 10:15 公民館
 ★農産相談
 ▽20日 13:30 農協
 議室
 年末助け合い
 ご協力を
 助け合い運動が展開されてい
 めぐまれない家庭にあつ
 手をさしあげよう
 十月一日から月間運動

[illegible]

県平塚消費生活センター（梅屋
パート内）で開いています。

今月のテーマ
「お正月の食料品」(家庭づく
からレディメイドまで)
とき 毎週金曜日 午後1時
から3時0分(午前の部あり)

◎今月は県自動車文庫はお休みです。

相
談

12月の行
(公民館)

事	あ
贈)	
協会役	

建設資金として

の一部分と、中南した。
 一、百万円の寄贈が
 両氏のご好意に対して
 謝の意を表わし、厚くお
 かげます。

川崎 大町 一五
 吉町社

—12月25日まで—

1975

あいさつ運動で
明るく住みよい
町にしましょう

《二宮町社会福祉協議会》

二宮町 ロードレース大会

○日 時 1月15日 午前9時スタート
○場 所 一色小学校横
○申込み 1月10日までに教育委員会
○種 目 一 般 6千メートル
中学生 3千メートル

工業統計調査に
ご協力を

○調査期日 12月31日現在
○対 象 製造業に属する
すべての事業所
★調査員がうかがいますので、よろしくご協力ください。また、県輸出生産統計調査も合せて行ないます。